

中でも亀高温泉「玉峰山荘」は、目標よりはるかに早く昨年十一月に入館者が百万人に達し、全国旅行情報誌の「お気に入り温泉ランキング」で島根県の一位に選ばれたところです。



入館者100万人を突破した奥出雲の観光拠点 亀高温泉「玉峰山荘」

今後も観光客のニーズに対応した奥出雲観光ツアーやトロッコ列車を活用した観光企画、地域間交流などによる田舎ツーリズムを積極的に推進し、交流人口の拡大による魅力ある奥出雲の町づくりを進めて参ります。

第二セクター

行政改革審議会において抜本的改革が必要との答申を頂き、経営不振の「有限会社奥出雲サンマツシユ」については、経営主体を町に一本化し、過疎債による出資金も要望し、老朽化により稼働停止中の施設の改修を行い有限会社奥出雲椎茸の支援のもと経営改善を図っていくこととしております。

また「株式会社アメニティよこた」につきましては、経営健全化のため経営主体の関係者と検討、協議を行うっており、健全経営に向け抜本的な見直しが必要となっており、

定住対策

依然として過疎化や少子高齢化が進む中、定住対策事業として雇用の場の確保にあわせて・Uターン者の定住促進のために造成した住宅地のPR広告等を実施し、町内就職、定住者に対する奨励金制度を引き続き実施いたします。また本年度に新たに国の交付金と過疎債適用を制度化して頂きましたので、空き家活

用事業に取り組み将来の奥出雲町を担う若者や・Uターン者の定住促進に努める考えであります。

生活基盤整備

国道四三二号につきましては、亀高町から梅木原地内大仁農道の間が改良事業として、また、大仁農道から亀高駅方面については交通安全対策事業として引き続き工事が進められることとなっております。主要地方道につきましては、玉湯吾妻山線の高尾工区の山切り工事、上阿井八川線の大馬木地内旭工区、横田多里線の大田市街地の街路工事、稲原地内の改良工事が引き続き実施される予定であります。

道路網の整備

一般県道につきましては、休止されていた印賀横田線の万丈工区も工事に着手され、継続施工の予定となっております。また横田伯南線の大呂地内も引き続き施工の予定であります。木次横田線については、土屋から郡間において一・五車線改良として継続的に工事が

進められます。

町道につきましては交付金事業の三沢山根線の尾白工区について本年度より工事に着手する予定とし、県が負担する佐白北原線については橋梁工事を含めて継続実施して参ります。

また町単独事業としてしましては、川西五反田線の県道交差点の改良工事のほか見寄中田線、阿井公園線、ダム関連の上三成宇根路線、八代三沢線につきましても継続施工することとしております。

新規の事業では、尾原ダム周辺道路の整備として玉雲寺・上布施線について測量設計に入る計画としており、また、川東・雲崎線の新設道路につきましても測量設計に着手する予定であります。

横田地区大市内の県道横田多里線と町道横田八川線との変則交差を解消するための道路整備も計画しております。地すべり対策工事としては、鞍掛地区、上鴨倉地区がまた、雪崩対策事業といたしましては大馬木地内の反保地区がそれぞれ継続施工される予定であります。

尾原ダム建設事業

現在、ダム本体の掘削工事が進められており、本年度からコンクリート打設工事に着手される予定であります。

また、付け替え道路として引き続き佐々木線をはじめ各路線が国土交通省の直轄事業として計画的に進められる予定であります。

ダム湖周辺整備につきましては、尾原ダム地域づくり活性化研究会を中心として国土交通省、島根県、地元等関係機関と調整を図り、ダム湖周辺の活性化が図れるよう努めて参ります。

農村整備

「元気な地域づくり交付金事業」として、加食東地区を対象とした国営開発農地への客土事業は今年度で完了となります。

また金川地区については、本年度より圃場整備事業に着手して参ります。

平成二十年度採択に向けた県営中山間地域総合整備事業については、仁多地域全域と馬木、八川地区について引き続き地元調整を図って参りま

す。

その他、県営事業として治山事業が上阿井で二地区が継続実施され、昨年度採択された大馬木の「大峠」も継続実施されます。

また、地すべり対策事業として仁多地区第二期が継続実施されます。

情報基盤の整備

平成十七年度より着手したケーブルテレビ整備事業は、すでに横田地域全域で完成し昨年末より放送を開始いたしておりますが、平成十九年度

は仁多地域において横田地域と同様に光ファイバーを各家庭まで接続し、テレビのデジタル放送への対応や最新技術を使った有線放送電話、インターネットの更なる高速化を実現して参ります。

これは全国でもまれに見る高度な情報基盤整備であり、情報化社会に対応した様々な活用が可能と考えております。

携帯電話の不感地域の解消につきましては、一昨年より各通信事業者に強力に要請を行っており、各通信事業者では、新世代携帯機器に対応した通話エリアの拡大のための施設改修が行われておりますが、平成十九年度においては福原地域に町が鉄塔を建設し、通信事業者に貸与する方法でエリアの拡大を図ることとしております。また国道三三四号沿い八川三森原・大八川地区の計画もして頂いており、現在、用地交渉中であり、

建設中の鳥上竹崎地区・阿井大森神社付近は、五月頃には開局しエリアの拡大が図られます。なお携帯電話の通信事業者に対しては引き続き要請を行うとともに、移動通信用鉄塔

間の光ケーブルの貸与など町の経費負担等も含めてそれぞれの通信事業者と協議し、更に通話エリアの拡大に努めます。

安全で快適な町づくり

消防防災行政

消防団は消火・防災はもとより地域の安全確保に大きな役割を果たし地域社会から期待が寄せられており、今年度も引き続き予防消防の啓発に努め、町民の皆さんが安心して暮らせる町づくりに努めて参りたいと存じます。

消防施設の整備につきましては馬木分団に有利な起債を活用し、最新鋭のポンプ車の導入を計画しております。

また災害に強い町づくりを目指し、現在奥出雲町としての地域防災計画並びに国民保護計画の策定を進めており、公共施設を含め、皆様から指定を頂いた身近な避難所には表示板を取り付けたところであります。

本年の県消防操法大会は益田市において開催される予定で、三沢分団が「小型ポンプの部」、横田分団が「自動車

ポンプの部」に出場することとなり、上位入賞を期待しているところであります。

水道事業

水道使用料につきましては、平成十九年度より皆様のご理解を得て旧町間の格差を調整させて頂きました。

具体的な事業につきましては、大馬木簡易水道と大峠及び上連飲料水供給施設の統合事業による施設整備工事を行うことといたしております。

また施設の老朽化、水量不足が生じております施設は、長期計画により順次整備を行う予定であります。公共下水道事業につきましては、横田地区の大手、稲田原口への管路工事を引き続き施工いたします。

また農業集落排水事業につきましては、大馬木地区で継続施工として管路工事及び汚水処理場の建設を予定しております。

集合処理区外の区域に対しましては、浄化槽市町村整備推進事業により町が浄化槽を設置する事業を継続して実施することとしており、今年度七十基を予定しております。

なお使用料につきましては、仁多地域では全ての下水道事業の料金が統一されてまいりましたが、横田地域では公共、農業集落排水、合併浄化槽それぞれで異なるため、使用料の設定がされており、審議会を設置して検討を頂く予定であります。

公営住宅

平成十八年度から国の地域住宅交付金制度を取り入れ住環境の整備を図っておりますが、引き続きこうした制度を利用して公営住宅のバリアフリー化や下水道接続、水回り環境の改修・修繕を行うほか、老朽化している町営住宅については計画的に建て替えを実施して参りたいと考えております。

資源の再利用、削減

世界的レベルで資源の再利用、再生利用、ゴミを出さないなどの循環型社会の形成が進められておりますが、本町においても本年四月から不燃物、資源ゴミの分別、収集を見直し、リサイクル、ゴミの減量化に努めて参りたいと考えております。



ケーブルテレビで地域の情報がリアルタイムでお伝えできます